

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第50期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 株式会社積水工機製作所

【英訳名】 Sekisui Machinery Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 矢澤 征一

【本店の所在の場所】 大阪府枚方市野村中町62番1号

【電話番号】 072 858 1121

【事務連絡者氏名】 経営企画室長 湯川 浩次

【最寄りの連絡場所】 大阪府枚方市野村中町62番1号

【電話番号】 072 858 1121

【事務連絡者氏名】 経営企画室長 湯川 浩次

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間	第49期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	5,005,537	3,125,970	3,028,939	2,079,986	9,747,552
経常利益又は経常損失 () (千円)	402,977	18,898	371,873	125,503	677,111
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	221,174	21,465	215,031	69,283	369,378
純資産額 (千円)			3,873,926	3,931,752	3,983,620
総資産額 (千円)			9,017,306	7,932,505	9,004,601
1株当たり純資産額 (円)			417.43	423.75	429.29
1株当たり四半期 (当期)純利益金額又は 四半期純損失金額() (円)	23.83	2.31	23.17	7.47	39.80
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			43.0	49.6	44.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	254,012	150,858			846,221
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	185,676	114,369			419,420
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	63,291	53,075			63,303
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			180,765	628,783	539,218
従業員数 (名)			186	189	185

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていません。

2 第49期第2四半期連結累計(会計)期間及び第49期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3 第50期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

4 第50期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	189 [57]
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であります。臨時従業員数は[]内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しています。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(名)	159 [29]
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であります。臨時従業員数は[]内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しています。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
金型	872,614	50.0
産業機器	528,211	26.5
合計	1,400,825	43.2

- (注) 1 金額は、製造原価(販売価格)によっています。
2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金型	1,314,825	43.7	1,206,375	36.3
産業機器	204,688	80.4	587,684	67.1
合計	1,519,513	55.0	1,794,059	51.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。
2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金型	1,361,695	38.6
産業機器	718,290	11.5
合計	2,079,986	31.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しています。
2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合。

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
積水化学工業(株)			512,502	24.6
スズキ(株)			313,622	15.1
しげる工業(株)	313,584	10.4		

(注) 前連結会計年度の積水化学工業(株)およびスズキ(株)当連結会計年度のしげる工業(株)への販売実績は総販売実績に対する割合が10%未満のため記載を省略しています。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間における、経営上の重要な契約等は次のとおりです。
技術及び保守提携契約

契約会社名	相手方の名称	国名	契約の内容	対価	契約期間
当社	アーク・ピーディー・ジー・コリア・コーポレーション・リミテッド	韓国	日本及び韓国におけるプラスチック成形用金型の相互保守契約	個別見積もりによる	平成21年7月より1年間。以降1年毎の自動更新
当社	シンヨウ・アーク・ピーディー・ジー・モールド・コーポレーション・リミテッド	中国	日本及び中国におけるプラスチック成形用金型の相互保守契約	個別見積もりによる	平成21年9月より1年間。以降1年毎の自動更新

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間の金型部門の連結業績は、主要顧客の自動車メーカー各社の新車開発計画の延期、中止が相継ぎ、第1四半期の受注は減少しました。第2四半期以降も、販売価格の下落が著しく、環境は厳しい状況が続いています。金型部門の売上高は1,361百万円（前年同四半期比38.6%減）となり、営業損益は21百万円の損失（前年同四半期は292百万円の利益）となりました。

産業機器部門の状況につきましては、主要顧客からの高機能フィルム、シート押出機関連の設備投資需要が大幅に減少し、引合いは低調に推移しました。産業機器部門の売上高は718百万円（前年同四半期比11.5%減）となりました。営業利益は変動原価の削減などにより138百万円（前年同四半期比63.0%増）となりました。

以上により、当第2四半期連結会計期間の全社の売上高は2,079百万円（前年同四半期比31.3%減）となり、営業利益は116百万円（前年同四半期比69.1%減）、経常利益は125百万円（前年同四半期比66.3%減）となりました。法人税等控除後の第2四半期純利益は69百万円（前年同四半期比67.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,072百万円減少し、7,932百万円となりました。主な内訳は、流動資産が1,123百万円減少しましたが、売上高の減少に伴い、売上債権が1,119百万円減少したことによるものです。流動負債は827百万円減少しました。仕入債務が971百万円減少したことによるものです。短期借入金は262百万円増加しました。固定負債は192百万円減少しました。長期借入金が176百万円減少したことによるものです。純資産は配当金の支払等により前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、3,931百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間の営業活動で獲得した資金は556百万円(前年同四半期は241百万円の獲得)となりました。主な増加の内訳は、税金等調整前当期純利益125百万円と減価償却費85百万円及びたな卸資産の減少650百万円等です。主な減少の内訳は仕入債務の減少399百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は41百万円(前年同四半期は134百万円の支出)となりました。設備投資による支出が主な内訳です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は311百万円(前年同四半期は183百万円の支出)となりました。主な減少の内訳は、長期借入金及び短期借入金が307百万円減少したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、第1四半期連結会計期間末に比べ203百万円増加(前年同四半期は76百万円の減少)し、628百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、19百万円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,000,000
計	28,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,350,000	9,350,000	大阪証券取引所 市場第二部	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あり、単元株式数は1,000株で あります。
計	9,350,000	9,350,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日		9,350,000		1,613,000		480,862

(5) 【大株主の状況】

株主名	住所	平成21年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社アーク	大阪市中央区北浜1丁目8-16	5,477	58.57
積水化学工業株式会社	大阪市北区西天満2丁目4-4	935	10.00
積水工機製作所従業員持株会	大阪府枚方市野村中町62-1	215	2.30
田賀 春雄	大阪府吹田市	120	1.28
株式会社滋賀銀行	大津市浜町1-38	100	1.06
尾崎 仁	香川県東かがわ市	86	0.91
第一生命保険相互会社	東京都千代田区有楽町1丁目13-1	79	0.84
株式会社積水工機製作所	大阪府枚方市野村中町62-1	71	0.76
株式会社京都銀行	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700	50	0.53
樋口 正吾	岐阜県海津市	50	0.53
計		7,183	76.83

- (注) 1 株式会社アークから平成21年9月17日付の大量保有の変更報告書の写しの送付があり、同社は株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、住友信託銀行株式会社及び三菱UFJ信託銀行株式会社との担保契約を解除し、担保に差入れた5,477千株が平成21年9月1日付で返戻された旨の報告を受けています。
- 2 株式会社アークから平成21年10月7日付の大量保有の変更報告書の写しの送付があり、同社は株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社三井住友銀行と担保契約を締結し、平成21年9月30日付で株式会社三菱東京UFJ銀行に1,825千株を、株式会社三井住友銀行に1,825千株を担保に差入れた旨の報告を受けています。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 71,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,226,000	9,226	
単元未満株式	普通株式 53,000		
発行済株式総数	9,350,000		
総株主の議決権		9,226	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれていません。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社積水工機製作所	大阪府枚方市野村中町 62 - 1	71,000		71,000	0.76
計		71,000		71,000	0.76

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	185	196	202	208	196	195
最低(円)	177	176	184	197	186	195

(注) 株価は大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しています。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しています。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	628,783	539,218
受取手形及び売掛金	2,401,293	3,521,067
仕掛品	¹ 503,320	692,257
原材料及び貯蔵品	44,165	48,206
繰延税金資産	161,834	101,878
その他	82,407	43,067
流動資産合計	3,821,803	4,945,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	² 970,960	² 1,007,115
機械装置及び運搬具(純額)	² 939,500	² 963,967
土地	1,883,795	1,883,795
建設仮勘定	135,145	8,697
その他(純額)	² 49,656	² 58,553
有形固定資産合計	3,979,058	3,922,129
無形固定資産		
ソフトウェア	56,023	57,256
その他	6,068	6,116
無形固定資産合計	62,092	63,373
投資その他の資産		
繰延税金資産	113	7,274
その他	92,349	66,129
貸倒引当金	22,911	-
投資その他の資産合計	69,551	73,403
固定資産合計	4,110,702	4,058,906
資産合計	7,932,505	9,004,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,199,989	2,171,112
短期借入金	1,459,570	1,197,070
未払法人税等	64,013	171,014
賞与引当金	97,000	133,700
設備関係支払手形	14,685	23,391
設備関係未払金	184,309	69,045
その他	161,165	242,878
流動負債合計	3,180,732	4,008,212
固定負債		
長期借入金	765,020	941,680
長期未払金	45,335	45,335
退職給付引当金	7,708	25,753
繰延税金負債	1,956	-
固定負債合計	820,020	1,012,768
負債合計	4,000,753	5,020,981

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,613,000	1,613,000
資本剰余金	831,151	831,151
利益剰余金	1,499,134	1,553,078
自己株式	17,043	16,809
株主資本合計	3,926,242	3,980,420
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,510	3,200
評価・換算差額等合計	5,510	3,200
純資産合計	3,931,752	3,983,620
負債純資産合計	7,932,505	9,004,601

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,005,537	3,125,970
売上原価	4,224,074	2,786,360
売上総利益	781,463	339,609
販売費及び一般管理費	1 367,755	1 372,580
営業利益又は営業損失()	413,707	32,970
営業外収益		
受取配当金	517	466
仕入割引	1,994	1,356
補助金収入	-	10,559
助成金収入	-	14,212
その他	892	559
営業外収益合計	3,404	27,154
営業外費用		
支払利息	12,907	12,531
その他	1,227	551
営業外費用合計	14,134	13,083
経常利益又は経常損失()	402,977	18,898
特別損失		
固定資産除却損	3,879	-
たな卸資産評価損	15,171	-
特別損失合計	19,050	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	383,926	18,898
法人税、住民税及び事業税	161,300	54,990
法人税等調整額	1,452	52,423
法人税等合計	162,752	2,567
四半期純利益又は四半期純損失()	221,174	21,465

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,028,939	2,079,986
売上原価	2,464,353	1,773,930
売上総利益	564,585	306,056
販売費及び一般管理費	186,872	189,320
営業利益	377,713	116,735
営業外収益		
仕入割引	922	596
助成金収入	-	14,212
その他	1	503
営業外収益合計	924	15,312
営業外費用		
支払利息	6,451	6,319
その他	312	225
営業外費用合計	6,764	6,545
経常利益	371,873	125,503
特別損失		
固定資産除却損	3,879	-
特別損失合計	3,879	-
税金等調整前四半期純利益	367,993	125,503
法人税、住民税及び事業税	115,900	52,318
法人税等調整額	37,062	3,902
法人税等合計	152,962	56,220
四半期純利益	215,031	69,283

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	383,926	18,898
減価償却費	145,339	165,866
貸倒引当金の増減額(は減少)	-	22,911
受取利息及び受取配当金	518	706
支払利息	12,907	12,531
売上債権の増減額(は増加)	268,102	1,096,863
たな卸資産の増減額(は増加)	141,588	192,977
仕入債務の増減額(は減少)	110,965	971,123
未払消費税等の増減額(は減少)	35,853	63,517
賞与引当金の増減額(は減少)	13,500	36,700
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,662	18,045
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	43,860	-
長期未払金の増減額(は減少)	45,335	-
その他	30,848	60,288
小計	370,189	321,868
利息及び配当金の受取額	518	871
利息の支払額	13,028	12,229
法人税等の支払額	103,666	159,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,012	150,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	1,728	-
有形固定資産の取得による支出	168,241	108,034
その他	15,706	6,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	185,676	114,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	235,200	214,160
自己株式の純増減額(は増加)	371	233
配当金の支払額	27,719	32,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,291	53,075
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,044	89,564
現金及び現金同等物の期首残高	175,721	539,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	180,765	628,783

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

金型及び産業機械に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針18号平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については、工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を適用し、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の売上高、営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益に与える影響はありません。

なおセグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しています。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 損失が見込まれる工事契約に係る仕掛品は、これに対応する工事損失引当金22,800千円を相殺表示しています。	
2 有形固定資産の減価償却累計額 6,419,815千円	2 有形固定資産の減価償却累計額 6,262,163千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。
従業員給料手当及び賞与 120,102千円	従業員給料手当及び賞与 115,166千円
賞与引当金繰入額 31,054	賞与引当金繰入額 19,592
退職給付費用 4,409	退職給付費用 4,629
役員退職慰労引当金繰入額 2,434	減価償却費 20,639
減価償却費 20,179	研究開発費 38,856
研究開発費 23,532	貸倒引当金繰入額 22,911

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。
従業員給料手当及び賞与 61,069千円	従業員給料手当及び賞与 56,605千円
賞与引当金繰入額 15,727	賞与引当金繰入額 5,600
退職給付費用 2,341	退職給付費用 2,246
役員退職慰労引当金繰入額	減価償却費 10,409
減価償却費 9,674	研究開発費 19,781
研究開発費 11,444	貸倒引当金繰入額 22,911

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 180,765千円	現金及び預金 628,783千円
現金及び現金同等物 180,765千円	現金及び現金同等物 628,783千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	9,350,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	71,599

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	32,478	3.5	平成21年3月31日	平成21年6月25日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	金型 (千円)	産業機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,217,247	811,691	3,028,939		3,028,939
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				()	
計	2,217,247	811,691	3,028,939	()	3,028,939
営業利益	292,594	85,118	377,713	()	377,713

(注) 1 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっています。

2 各事業区分の主要製品

金型.....プラスチック成形用金型

産業機器.....押出成形機、発泡成形機及びその周辺機器

3 会計処理の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用していますが、セグメント情報に与える影響はありません。

4 追加情報に記載のとおり有形固定資産の耐用年数の変更に伴い、従来の方法に比べ、営業利益は、金型事業が6,976千円増加しています。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	金型 (千円)	産業機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,361,695	718,290	2,079,986		2,079,986
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				()	
計	1,361,695	718,290	2,079,986	()	2,079,986
営業利益又は営業損失()	21,977	138,712	116,735	()	116,735

(注) 1 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっています。

2 各事業区分の主要製品

金型.....プラスチック成形用金型

産業機器.....押出成形機、発泡成形機及びその周辺機器

3 会計処理の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、「工事契約に関する会計基準」を適用していますが、セグメント情報に与える影響はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	金型 (千円)	産業機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,787,161	1,218,376	5,005,537		5,005,537
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				()	
計	3,787,161	1,218,376	5,005,537	()	5,005,537
営業利益	286,869	126,838	413,707	()	413,707

(注) 1 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっています。

2 各事業区分の主要製品

金型.....プラスチック成形用金型

産業機器.....押出成形機、発泡成形機及びその周辺機器

3 会計処理の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用していますが、セグメント情報に与える影響はありません。

4 追加情報に記載のとおり有形固定資産の耐用年数の変更に伴い、従来の方法に比べ、営業利益は、金型事業が10,212千円増加しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	金型 (千円)	産業機器 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,140,117	985,852	3,125,970		3,125,970
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高				()	
計	2,140,117	985,852	3,125,970	()	3,125,970
営業利益又は営業損失()	150,435	117,465	32,970	()	32,970

(注) 1 事業区分の方法

内部管理上採用している区分によっています。

2 各事業区分の主要製品

金型.....プラスチック成形用金型

産業機器.....押出成形機、発泡成形機及びその周辺機器

3 会計処理の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、「工事契約に関する会計基準」を適用していますが、セグメント情報に与える影響はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店を有していないため、記載を省略しています。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店を有していないため、記載を省略しています。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店を有していないため、記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当社は、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店を有していないため、記載を省略しています。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
423円75銭	429円29銭

2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額
第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 23円83銭	1株当たり四半期純損失金額 2円31銭

- (注) 1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。
- 2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 3 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	221,174	21,465
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	221,174	21,465
普通株式の期中平均株式数(株)	9,280,258	9,278,930

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 23円17銭	1株当たり四半期純利益金額 7円47銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	215,031	69,283
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	215,031	69,283
普通株式の期中平均株式数(株)	9,280,826	9,278,576

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

株式会社積水工機製作所
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 原 準 平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 市 之 瀬 申 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社積水工機製作所の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社積水工機製作所及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

株式会社積水工機製作所
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 原 準 平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 市 之 瀬 申 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社積水工機製作所の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社積水工機製作所及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。